

422

特246

4

975

宮城長五郎氏講演 長崎控訴院事務長

思想犯の経過

大日本忠孝会 第二輯

大日本忠孝会 發行



0034386000

0034386-000

特246-975

思想犯の経過

宮城長五郎・〔述〕

大日本忠孝会

昭和10

AGC

3

大日本忠孝會趣意書

忠孝の大道は人倫の大本にして總ての善行の基本たり。殊に斯道を以て建國の基礎と爲せる本邦に於ては國運の隆昌も一家の繁榮幸福も皆斯道の普及徹底を待つて初めて之を期待することを得べし然るに方今、新即善の思潮天下を風靡し、忠孝の大義すら之を陳腐なりとして省みざる者無きにあらず、天下の大患豈之に過ぐる者あらんや。惟ふに苟も生を本邦に享くる一人として斯道の尊むべきことを知らざる者あらざるべし。而して今日の現狀を呈するに至りたる所以のものは蓋し外來思想の刺戟餘りに激烈にしてその注意を斯道に覺醒するの機會尠きを以てなり。これ余が微力自ら揣らずして本會を組織し、忠孝の大義を各自の腦裏に喚起するの機會を頻繁ならしめんと企圖する所以なり。仰ぎ希くば大方諸君子の振つて賛同を賜はらんことを

謹白

昭和七年二月十一日

長崎育兒院長
長崎託兒所長

天 本 愛 儀

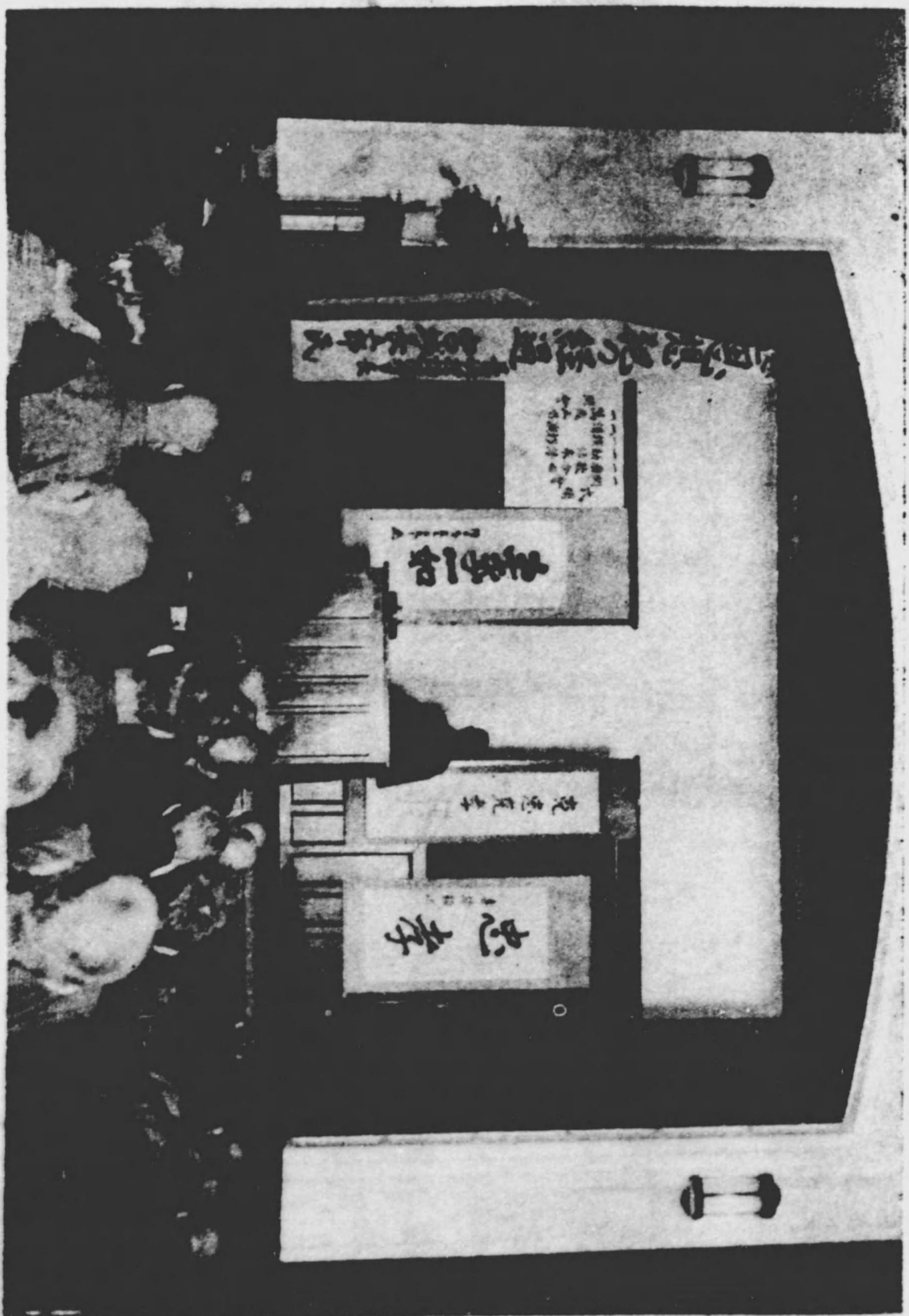
長崎市十人町

本會は天本愛儀氏の熱心なる主唱によりて組織せられ諸經費の如きも主として同氏の喜捨金を以て之に充つ、而して其の目的とする處も亦同氏の發起趣意書に之を盡せり依つて之を本會の趣意書に代ふ

昭和七年十一月三日

大日本忠孝會

特246
975

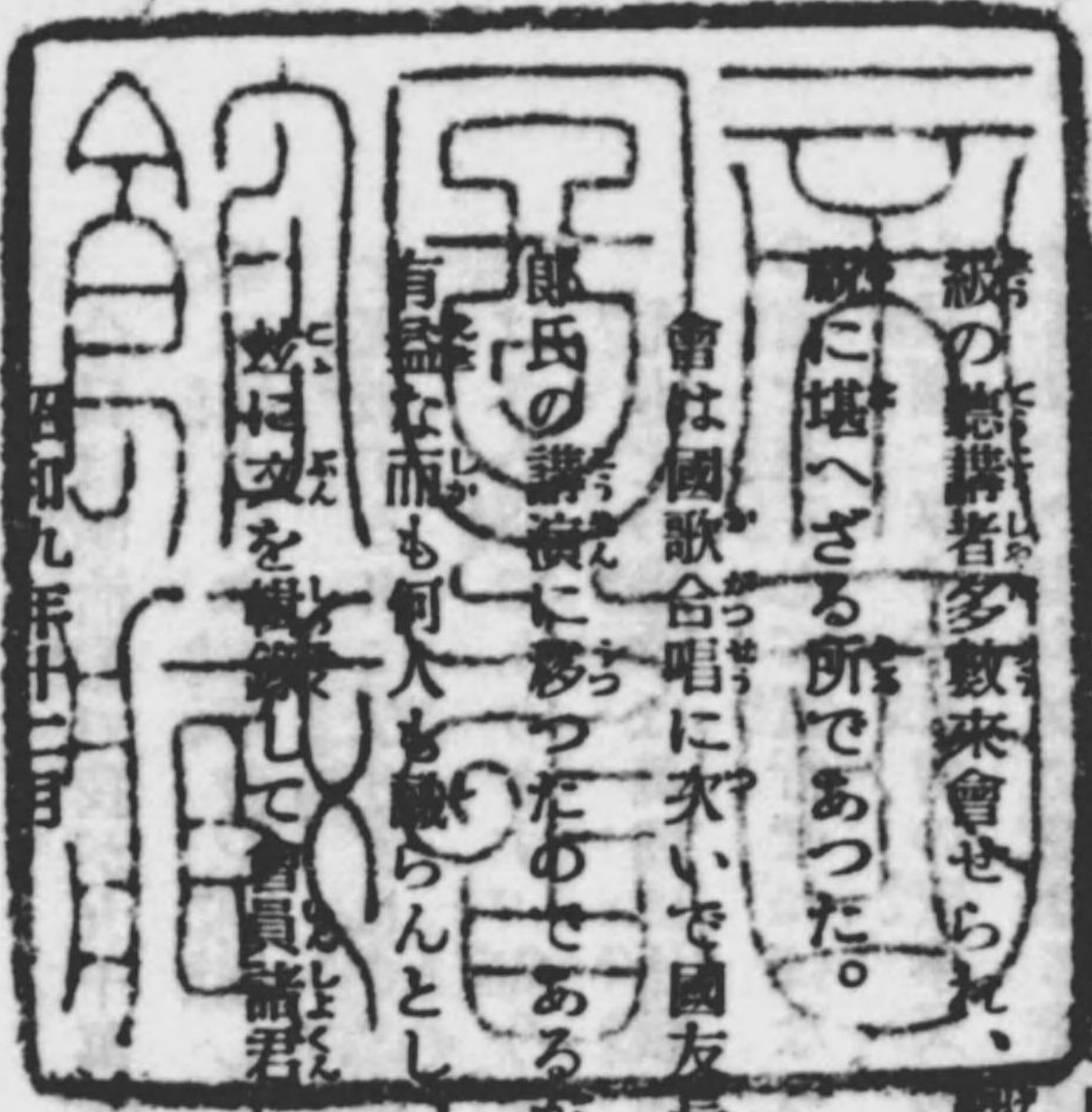


長崎公館長 於 演講の氏郎五長城宮 長事院評控崎長

はしがき

我が大日本忠孝會は、明治節の佳辰であり本會創立二周年の記念日である去十一月三日午後七時から、長崎市袋町公會堂に於て記念講演會を開催したところ、當日は他に諸種の會合があつたに拘はらず、會員は勿論市内智識階級の聴講者多數來會せられ、觀衆と緊張の氣分に浸つたことは獨り本會の爲に欣ぶべきのみならず、邦家の爲め慶

會は國歌合唱に次いで國友長崎醫科大學教授の教育に關する 勅語 奉讀があつて、長崎控訴院檢事長宮城長氏氏の講演に移つたのであるが、氏の講演は左右兩翼の思想犯に關する豊富な資料を傾けたもので、時節柄有益な而も何人も感らんとし、又何人も識るを要するものであつた。殊に文を撰録して會員諸君に頒つこととした所以である。



大日本忠孝會

挨拶

拍手

天日本愛儀

2

今日は明治節で我が九千萬國民の等しく謹んで慶賀する所であります。就きましては、この佳節を卜しまして、第三回大日本忠孝會を開催しますのであります。そして本會も茲に二年の歳月を経まして、その會員數も五千名を突破する事になりました。益々擴張發展致しまする事になりましたことは、偏に皆様の御後援の賜と、感謝措く能はざる所であります。尙今晚は斯くの如く多數御來會下さいましたことは、重ねて皆様に御禮申し上げます。尤も此の忠孝は萬國に比類なき我國特有の最も尊き日本魂の依つて發生する所以の淵源であります。故に必ず斯の道を遵守して實行せねばならない。即ち是れ建國の基礎であり亦、國民道德の根本であります。されば苟くも生を我國に享けて社會の安寧又國家の興隆を致しますには、どうしても吾々は舉國一致協力して、而して此の天地を買ぬく、忠孝の大精神に依つて、臨機應變の策を廻らして依つて以て世界を指導し、又東洋平和の爲に大運動を起して、畫策して基礎を強固ならしめねばなりません。それにつきまして思ひまするに、假令國がどんなに廣く強くなつても或は又如何に生産が發展して國家の財界が良くなるにしましても若し内に於て如何はしく思想が悪化致しますることになりますると其結果たるや識者を待たずして恐るべき事は知るべきのみであります。此事に就きま

して唯今より天下に高名にあらせられ而して我が社會の表裏を御洞察あらせられる、長崎控訴院檢察長宮城閣下の有益なる御講演がありますので何卒御靜聽を御願ひ致します。

是を以て私は御挨拶並に御紹介の言葉と致します。終りに臨んで皆様の御健康と御幸福を祈り尙又今後此の大日本忠孝會の爲に此上ながら御後援を御願ひ致します次第で御座います。(拍手)

「紹介」長崎控訴院檢察長宮城閣下を御紹介申し上げます(拍手)

思想犯の經過

長崎控訴院檢察長 宮城長五郎氏

私の親しくして居ります石井控訴院長が、此の會に余程深く關係せられて居りますと云ふ事で、私も素より忠孝會の精神主義に於ては結構なる事であると云ふ風に考へて居りましたので、院長からは是非何か話をして貰ひ度い

3

と云ふ様な頼みがありましたので、宜しい。それじゃ一つ話をしやうと云ふて引受けました。今夕皆様に話を致します光榮を有するに至つた次第であります。

先づ本日は明治節でありまして明治大帝の御遺徳を偲び、殊に昨夜は大變な雨でありましたが、本日は明治天皇晴れ。今に至る迄明治天皇の御遺徳と云ふものは教育勅語と共に我が國民の欣幸措く能はざる所と相成りて居ると考へて居るのであります。

私の申上げます事は先般岩永さん(長崎縣會館長)が参られまして、その話の結果、斯様な演題を擧げたのでありまして「思想犯の経過」と申しますと云ふと随分、古い昔から考へますと歴史には随分色々な事があります。只私の申上げます事は私が實際取扱ひました事に至つた其間の關係を申上げて、思想の移り變りと言ふやうな事を御諒解を願ひ度いと思ふのであります。

一概に思想犯と申しますが特殊な思想を以つて、その思想の現れが犯罪になつた是が思想犯なのであります。さう申しますると随分問題の範圍が廣くなるのであります。私の申上げるのはそう廣いのでなく普通に謂はれて居ります所の左翼思想、右翼思想の間の犯罪と云ふ事に問題を極限致しまして、お話申上げ度いと思ひます。御承知の通り右翼思想は國家主義帝國主義。是に反します所の民主主義社會主義を左翼主義と申して居るのであります。左翼、右翼が今日に至る迄如何なる経過を辿つて來たかと云ふ事を、一應お話を致し度いと思ふのであります。

す。

明治四十一年であります、東京の赤旗事件と云ふのが起りました。その事件は山口孤劍と云ふ人が治安警察法に引かゝりました。監獄に這入つて監獄を出て参りまして、此の出獄歡迎會と云ふものを神田の錦輝館で行つたのであります。先づ珍らしい事で監獄から出て参りますと云ふと、大概の者はハ、ア彼奴はもつそ飯を食つた奴だ、と云ふ事で、人は相手にもしないのであります。此の山口孤劍の出獄については大杉榮、荒畑寒村等と云ふ者が主となりまして、神田の錦輝館で歡迎會を開いたのであります。歡迎會が終りまして、竿の先に赤い旗をつけまして此旗を神田の町を立て、練り歩かうと致したのであります。警察の官憲は許すべきものではないので、此れを停めたのであります。

停めたのに拘はらず、尙赤旗を立て、神田の町を歩かうと致したので、その旗竿の奪ひ合ひが始まつたのであります。此の奪ひ合ひの結果公務執行妨害と云ふので、相手方はそれらしくられたのであります。その内に菅野スガと云ふ有名な女性も居ります。

其の赤旗事件が我が國に於きまして、昔は平家の赤旗と云ふのがありましたが。明治から此の方の事件として赤い色が出て参りました始めであると存じます。

その事件を私は忘れも致しません。私が明治四十一年の四月に始めて學生生活を終りまして、判事になつて、そ

うしてその年の六月でありますこの事件の主任判事として、處理致したのであります。それ故に忘れる事の出来ない事件なのであります。

此事件の時に大杉榮、荒畑寒村の如き統領株の申しまするのに、警察、検事局と云ふものは誠に理解がない。只自分達を壓迫すれば宜しい。と云ふ様に考へて居りましたが、獨り裁判所のみは！判事のみは誠に理解あると云ふ様なことで極めて、靜慮に審理を受けたのであります。審理の結果下された判決は非常に重かつたのであります。此の判決の言ひ渡しを聞いて赤旗事件の被告人は、これが日本に於て、法廷に於て。萬歳を唱へた一番始めてでは無いかと考へます。併しながら被告人は期する所があると見へまして、おめ／＼しく控訴上告は致しません。一審の判決に服したのであります。

此赤旗事件が因となりまして、起りましたものが明治四十三年の大逆事件であります。誠に明治節に大逆事件のお話をするやうに相成りましたのも明治大帝に何等かの御因縁があるのではないかと考へますが。幸徳秋水外二十六名の者が大逆事件を起そうとしたのであります。女性では菅野スガも關係して居りました。

此の事件も明治大帝の御威徳の御力に依りまして未だ事の發せざる際に、發覺致しまして一網打盡に檢擧致されたのであります。この調べに依りまして裁判所のみは頼る所であると考へましたが、裁判所も頼る所ではない。世の中に頼る所が無いと云ふので大逆事件は起したと云ふ事が判つて來つたのであります。

明治時代に於きましては社會主義と申して居りました。社會主義の頭れが赤旗事件となり大逆事件となつて來たのであります。

明治を過ぎまして大正に相成りまして、大正元年であります。友愛會なるものが出來たんであります。此の友愛會なるものは労働者の會であります。社會主義の思想なるものが労働者の方面に這入り込んで參つたんであります。併しながら未だ社會主義の思想なるものがそれ程盛んに相成りませんので、元年より五年を無事に經過致しまして六年になりました。堺利彦氏、即ち堺枯川氏の方が、衆議院議員の總選舉の際に候補に立つたのであります。觀察して見ますると云ふと友愛會に依りまして、労働者の方面に入り堺利彦氏の立候補に依りまして、議會の方面にまで、此の思想を入れやうとしたと云ふ事に理解が出來るのであります。併し堺利彦氏は落選を致しました。これが六年でありまして七年になりますと、東京の帝國大學に新人會なるものが生れたのであります。此の年早稻田大學に建設社と曉民會と云ふものが生れたんであります。つまり社會主義思想なるものが學生の方面に、這入り込んで參つたと云ふ事になるのであります。次第々々に社會主義の思想が傳波致しまして、大正九年になりますと云ふと、皆様九州のお方でありまして御存じであります。入幡製鐵所の大ストライキが起つたのであります。参加人員三萬人此の年に東京市電のストライキが起つたのであります。又此年であります。日本に始めてメイデー（労働祭）なるものが五月一日上野公園で行はれたのであります。

次第々々に社會主義の運動なるものが熾烈激成せられて来るやうになつたのであります。

大正十年に相成りますと云ふと赤藍會なるものが設けられた。之れは社會主義の思想を抱いて居ります。婦人の會合であります。即ち社會主義思想が大正十年に至りまして我が國の婦人に這入り込んだのであります。

家庭を守る事を我が國婦人の美德と致して居りましたのに、この婦人に社會主義思想と云ふものが這入り家を外にして會合しました。赤藍會なるもの、組織致されましたのが大正十年であります。又此の年であります。日本海員組合なるものが出來たのであります。社會主義思想なるものが板子一枚の勇敢なる生活をして居ります處の海員に這入り込んで行つたのであります。斯様に致しまして大正十年には曉民共產黨の檢學があつたのであります。十人檢學致しまして十五人共すべて豫審を請求されました。是が共產黨の始めての檢學であります。社會主義思想なるものが共產主義思想にまで變つた事が之によつて明かになるのであります。是が大正十年の十二月であります。左様な次第でありまして社會主義思想の内は、まあストライキがありまして兎に角どうにかこうにか無事に治める事が出來たのであります。共產主義思想なるものを抱くものがありまして、十五人も犯人として檢學せられるやうに相成つたと云ふので、こゝに何等かの取締法なるものを設けねばならないと云ふことを考へまして、時の政府は過激社會運動取締法案なるものを工夫致しまして、議會に提出したのであります。丁度此の法案が大正十一年の一月の議會に提出されました時に、私は司法省の政府委員としてこの法案の審議に關係して居りましたので

いさゝか事情を知つて居るのであります。色々工夫した結果過激社會運動取締法と云ふ名前を付けたのであります。此の法案は貴族院に先づ提出して貴族院の協賛を得た上に、衆議院に廻附する方が議案通過の政策上、宜しくはないかと云ふことで此の法案は先づ貴族院に提出したのであります。貴族院の空氣なるものはどうであるかと申しますと、大多數の空氣は此の法案は必要であると云ふ風に考へてゐたやうであります。少數は必要とせぬと云ふ様な空氣であつたのであります。もつとつき進んで細い事を申上げ度い事もありますが、筆記をして居る様でありますから突き進んで細かいことは申上げ兼ねますが、此の法案に反対な人もあつたと云ふ事を良く知つて居ります。誰であるかと云ふ事を私は良く知つて居りますが、筆記をして居りますから是が誰であると云ふ事は申上げ兼ねます。其反対の意見はどうであるかと申しますと、社會主義の思想にしても共產主義の思想にしても思想なるものは刑罰を以て彈壓すべきものではない。思想なるものに對しては思想を以て、之に向はねばならぬ惡き思想に對しては善き思想を以て、之に向ひ導かなければならぬ。汝は惡き思想の持主であるからと云ふので、刑罰を以て當る事は宜敷くないと云ふ事が根本の反対の理由であるやうに諒解して居ります。

私の意見と致しましては、それは御尤もである、思想に對しましては思想を以て對立せねばならぬ、尤もなことである然し思想對思想を以て御すべき思想の持主と云ふものは、左程多くあるものではない。若しも社會主義思想の持主、共產主義思想の持主、是の如き思想の持主が、日蓮の如き聖者であつて、首に刀を擬せられても南無妙法

蓮華經と唱へることを止めない程な思想の持主であつたならば、刑罰を以て之に擬するもなんするものぞ。斯くの如き思想の持主に對しましては宜しく汝の思想は間違つてゐる思想であると云ふことで善き思想を以て之に對立するものが相當である。

併しながら日蓮の如き思想の持主と云ふものは、私の見る所では社會主義思想の持主、共產主義思想の持主の中には一人もないと考へる。寧ろ左様な思想を賣物にして之に依つて生活してゐるものがある。思想ブローカーである、思想屋。斯くの如き者に對しては、刑罰を以て臨んだならば容易く彈壓することが出来る。又假に一人二人日蓮の如き聖き信念を持つてゐる思想の持主があつても、多くの者はこれについて行くのであるから、これについて行つてゐるものには、刑罰を以てこれに臨んだならば彈壓することが、出来ること云ふことが私の信念で、まあ一委員會に當つて夫々説明したのであります。

然しながら此の法案は良いともならず悪いともならず、會期切迫と云ふ議會一流の法案埋葬の手段に依りまして可否を問はれることにならず葬られたのであります。これからあります思想問題が益々喧ましくなり益々はびこつて參つたのは之からであります。此の法案が議會に出たと云ふ事がかへつて思想問題なるものを喧ましくならせた本になるのであります。

其處で大正十一年には全國水平社なるものが出来たのであります、水平社なるものは封建思想を排撃することを

目的として出来たのであります、私はそれに付いて説明仕様と云ふのではなくその全國水平社なるものが出来たと云ふ事が、思想問題が農民にまで這入り込んだ證據となるのである。そのために水平社なるものゝ出来たことを申上げるのであります。果せるかな此の年には日本農民組合なるものも出来たのであります。

友愛會に依りまして労働者に思想問題が這入り、新人會、曉民會等に依りまして學生に這入り今度は水平社、日本農民組合で思想問題なるものが農民迄に這入つて參つたのであります。又此の年であります。日本共產青年同盟なるものが出来たのであります。農民とか労働者と云ふものは眼中に置かずして廣く青年なるものに、此の社會主義の思想共產主義の思想が這入り込むやうになつて參つたのであります。

又此の年であります。高等學校聯盟なるものが出来たのであります。學生聯合會が出来たのも此の年大正十一年であります。親の腰を噛ちつて學校に行つてゐる學生が何の聯盟とか何とか會と云ふ様な事を盛んに云ひ出す様になつたのは此の年からであります。親はいゝ迷惑であります。社會運動をする爲に親は學費を出してゐるのではない。高等學校の學生が聯盟を作りましてそして色々の社會問題について研究するとか何とか云ふことに相成つた會を作りましたのが、大正十一年であります。これからが大變なのであります此の年に赤化防止團なるものが出来たのであります。今迄は社會主義とか共產主義とか赤き思想が非常に跋扈して居つたのである。労働者に致しましても農民に致しましても大學生に致しましても、高等學校の學生に致しましても赤き思想にかぶれて赤き思想のた

めに自分の學課を放擲し、課務を省りみないで騒ぎ居る者があつたのであります。

これはいかんと云ふので赤化防止團なるものが出来たのであります。

日本は奇怪な國でありまして、思想問題に於ては或る一方の思想が這入りますと云ふと、又他の思想が起りまして。然る可く治まつて来た國であります。應仁天皇の時に今の朝鮮から漢學が這入つて参りました。これを然る可く治めた。又推古天皇の時に佛教が這入つて来たこれも然る可く治めた。

漢學が朝鮮から這入つて参りました時には、之は大變なことであつたと考へられる。皇子の稚郎子は非常に漢學に通じまして、應仁天皇の後、兄の大鶴尊と位の譲りつこをした。天皇は皇子稚郎子に御位をお譲りしやうと考へて居られたのだが、漢學で仕立てられました皇子稚郎子は、父帝の御意なりと雖も兄を斥ぞけてはならぬと御考へになつてお互に御位の譲り合ひを致しました。その年限三ヶ年。人民は何處に租税を持つて行つて良いか分らないと云ふので非常に困つたのであります。今は税金は成る可く拂い度く無い。その當時は何所に税金を持つて行つて良いか分らないと云ふので、苦しんだ、時世は變つたものです。とにかく皇子稚郎子は畏れ多くも御自害をなされまして、兄の大鶴尊に位に付くやうに致されました。これは漢學の精神がよく實行されておつたと拜察致します。佛教の問題に致しましても物部と蘇我とが非常なる争ひ。宮中の重臣の争ひにまでなつた。今日はまだ宮中の近くまでは赤化問題が行つてゐないのであります。これ程重大な事件宮中に陛下の御膝下まで、思想問題が這入つて

居たのであります。兎にも角にも然る可く治めて来たのであります。之も赤化防止團が出来たと同じやうに反對潮流と云ふものが出来まして、日本精神なるものがそれによつて然る可く立ち立てられて来たこと云ふ事になると考へられるのであります。併し赤化防止團なるものが大正十一年に出来なければならなかつた程左様にさう云ふ赤き思想なるものが厄介な問題になつて参つたのであります。

赤化防止團が出来まして、翌年の大正十二年是は大きい事件でありましたから、御存じの方もありませんが奈良縣に國粹會と水平社との衝突事件があつたのであります。

國粹會は御存じの通り右翼思想國家主義思想のかたまりであります。此の國粹會と水平社との衝突事件が、大正十二年に奈良縣に起つたのであります。大正十一年の赤化防止團が出来ました後は赤と白との對立時代と申しましてよいと存じます。明治四十一年から大正十年に至る間と云ふものは赤の思想が獨り變つて居りましたが、大正十一年になりましてそれではならぬと云ふので、赤化防止團が出来ましてその後と云ふものは、赤の思想と白の思想とがお互に對立をして抗争をして居つた時代であると、こう見ることが出来ると思ふのであります。又此の大正十二年であります。第一次日本共産黨の檢舉なるものがあつたのであります。是が曉民共産黨に次いで第二回目の共産黨の檢舉なのであります。これは赤化防止團の出来た翌年檢舉致しまして七十人の檢舉者の中六十四人を起訴致したのであります。これから益々赤と白との争ひが喧ましくなつて来てゐるのであります。又此の年でありま

す佐野學がウラジヲへ渡航致しまして、モスコイ上海を經由してロシアのソビエトの者と夫々内交渉をとげたのも此の年であります。又此の年には赤き思想の持主高尾平兵衛と云ふ者が、數名の主義者を引き連れて赤化防止隊長でありました、米村嘉一郎氏をいじめに参りました。赤化防止隊長は不埒なることをやると云ふのでいじめに参りましたが、米村嘉一郎氏は中々一筋縄では喰へぬ人でありますので。到頭ピストルで以て高尾平兵衛をやつゝけたのであります。是は大正十二年であります、確か大正十二年の末と思ひます。又大正十二年には東京の大震災災がりました。此の騒ぎの中に社會主義者の大杉榮が憲兵に殺されたのは此の年であります。矢張りこれも白と赤との争ひの結果と見ることが相當であると考へます。

大正十三年になりますと云ふと、第一次日本共産黨が檢舉致されましたがために遂に第一次日本共産黨は解散する事に相成つたのであります。併し是は表面丈の事で此の年には第一回の農民デーなるものがあつたのであります。メデーは労働者のデモンストレーションと云ふ可きもので、そのまねを致しました農民デーなるものが大正十三年に舉行されたのであります。此の年に學生社會科學聯合會なるものが出来ました。

大學生とか高等學校の學生とか中學校の學生とか女學生とか何等の區別もなく、兎に角學生の社會科學聯盟と云ふものが出来たのであります。又此の年であります。

福田大將が和田久太郎と云ふ赤き思想の持主に本郷の西洋料理屋で狙撃されたことがある。何故福田大將を狙撃

したかと云ふのに大杉榮は憲兵に殺された。福田大將は大震災の時戒嚴司令官になつて居たので彼れ和田は畢竟、福田大將が命令して大杉榮を殺させたのであると邪推致しまして、さうして福田大將を大杉榮の仇と見、殺さうと考へて狙撃したのであります。是も赤と白との喧嘩と云ふことの出来る事件でそれが大正十三年に起つたのであります。尙此の年から後に至りますと云ふと大正十三年、十四年、十五年に至りますと云ふと、後に申し上げる所の三、一五、四、一六中間檢舉、その檢舉に於て共産黨の首領株と目されてゐるものが盛んにロシアと往復をして居つたのであります。これは十三年、十四年、十五年に續いて居ります。又各地の温泉地で種々會合を開いて日本に共産黨なるものを確立しなければならぬと云ふことで十三年、十四年、十五年此の間盛んに活動して居ります。誠に此の時巧みに取締をやらなかつたならば如何なる事態が起つたかも知れないと今から考へましてもぞく／＼するやうな事柄があるのであります。それはこう云ふ事實でもわかるのであります。大正十三年、十四年、十五年それから昭和二年と次第々々に赤き主義者なるものが活潑に活動致しまして、さうして昭和三年の二月衆議院議員の總選舉があつたのであります。

その當時新聞等では無産黨と稱して居りますが。その無産黨の投票が全國で四十九萬票あつたとのことあります。さうして當選致したる者が労働黨と稱する者が二名、日労働黨と稱する者が一名、社民黨と稱する者が四名、九州民權黨と稱する者が一名、當選したのであります。夫にも埴利彦氏が立候補致しましたが當選しなかつたのであ

ります。昭和三年には斯くの如く當選して獲得投票四十九萬、これまで進出したのであります。そこで此の儘打ち棄て、置くわけにはいかぬと云ふので所謂三、一五事件検挙があつたのであります。

昭和三年の三月十五日に検挙したのは三、一五事件と今日申されて居ります。此の時検挙致しましたる人は、三千四百二十六人、此内五百二十五人を起訴して居ります。其餘は許してゐる。尙これで杞成らんと云ふので、治安維持法緊急勅令なるものが出来てきました。今までの治安維持法では刑が軽いと云ふので、緊急勅令で刑を重くして居ります。思想對立主義が刑罰主義に負けたと見ることが出来ます。今迄は死刑がなかつたのであります。此時始めて緊急勅令で死刑が這入つたのであります。然しまだ赤と白との喧嘩時代でありまして其翌年の昭和四年であります。代議士の山本宣治君が七生義團員の黒田と云ふのに殺されて居ります。今迄は赤い方が白い方を攻撃して居つたのであります。赤化防止團の米村君に致しても先方から攻撃に參りましたのを返り打にした形で、却つて殺したのであります。又福田大將に致しても赤い者にやられたのであります。始めて昭和四年に到りまして今度は白の黒田と云ふ人が赤いと目されて居ります。山本代議士をやつゝけた。其後四月十六日昭和四年の四月十六日に共産黨の大検挙があつた。それを四、一六事件と申して居ります。此時には四千九百四十二人検挙しまして、三百三十九人起訴して居りました。此四、一六事件で銅山貞親これは有名な人ですが此人も検挙され六月に佐野學君も検挙されてしまつたのであります。佐野學君と銅山貞親とが検挙致されましたので、今度は學生社會

科學聯合會が解散されたのであります。文部省の學生に對する取締が手ぬるいのもつと注意してしつかり取締つてやればよかつたのに、それをやらなかつた、めに學生社會科學研究會とか、なんとか聯合會とかを作つたりなんかしてそれが四年には到頭解散することになり、東京帝國大學の新人會も解散するに至つたのも、此年であります。それは昭和四年であります。それから昭和五年に至りますと云ふと、第三次第四次の共産黨の検挙があつたのであります。是を中間検挙と申して居ります。尙此の昭和五年には此の日本共産黨に資金を供給して居る者を検挙したのであります。此の時の事件の資金供給者の検挙は徹底して居らなかつたのであります。兎に角資金供給者の検挙があつたのであります。資金供給者其他の検挙のあつた、昭和五年には六千二百二十四人を検挙しまして、其内の四百六十四人を起訴して居ります。又此年あります。佐郷屋なるものが東京驛の驛頭に於て、濱口首相を刺したのであります。これも特殊な思想事件であります。今迄右翼の方面は左翼に對抗してのみ争ひを續けて居つたのであります。昭和五年に至りまして右翼の佐郷屋が時の總理でありました、濱口雄幸氏を東京驛で刺したのであります。之からが右翼方面が狂暴に出るやうに相成つたのであります。昭和六年六月から日本共産黨の有名な公判が東京で開かれたのであります。此の公判に於きまして共産黨員は、公判闘争なるものを工夫致しまして裁判所と争ひをして、そして争ひの結果を全國に知らせ、共産黨の宣傳をしやうと工夫したのであります。此の裁判長は私の甥であります宮城裁判長と當時云はれて居りました。私の甥であります。公判からは公判の傍聴を禁止せよと請求

され、右翼の方面からは公判のやり方が手ぬるいと云ふので強迫を受ける。右翼の方面の迫害を防止するための護衛調査がつくと云ふやうな騒ぎの中に立ちまわして、此事件の處理を致しまして、昭和七年に至つて判決をしたのでありますが、昭和六年此年は左右兩翼が極端に暴れた年であります。大日本生産黨が出来たのがやはり此の年昭和六年に出来たのであります。大日本生産黨も右翼であります。右翼の中の右翼とも云ふべきものであります。其の生産黨が左翼の方面に對立して出来たのであります。是からが大變であります。昭和六年の九月十八日これが滿洲事件の勃發した日であります。十二月十三日には到頭内閣が倒れました。犬養内閣が出来たのであります。兎にも角にも昭和六年には左翼の方面をしぼりますこと一萬三百七十三人あります。然し起訴されたものが三百七人盲目減法にしばつた様に考へられる。そこで斷つて置きますことは是からが私の仕事となるのであります。昭和六年十二月二十一日に私は大審院の検事と云ふ至つて上品な先づお寺で申しますと云ふと、大本山であります此の山から里に下りまして帝都の検事局の検事正になつたのであります。これが十二月二十一日。これから後は私が全部扱つた事件なのであります。私が大審院の検事を致して居りました時、共産黨の公判對策に就きまして、私の甥から相談を受けた事もあります。甥の云ふのにどうしても控訴院長がやつてくれと云ふのであるからやらなければならぬが、如何にしたならよいかと相談に來た私は「よし、やれ厄介な事件だから命がけでやれ、人間は死ぬ可き時に死ねばよいのだ命がけでやれ」「外に方法はない」と云つて勵勵してやつたことがあります。色々共産黨の活動

振りを甥から聞いて見ました。三、一五事件四、一五事件の時にはロシアから相當澤山の金が來てゐたやうであります。佐野學と鍋山貞親が逮捕せられ此の外ロシアに往復して居りました人々が逮捕致されましたので、ロシアの方面でも親類すべき人が皆檢舉されて、最早其人が無いと云ふ風に考へたと見へまして、此後は金が少しか來なかつた模様であります。そう云ふ事を考へて居りましたから私が検事正になつてから、昭和七年の一月に「彼等は如何にして生活してゐるじやらうか、或はカフェーに這入り或は待合へ行く、其の資金をどうして得てゐるじやらうか、資金の出所を調べて見て貰いたいものだ。如何にして生活してゐるか、生活の元手なるものは、何處から得てゐるか。調べて貰い度いと云ふ事を觀視廳の特高部に云ふたのが昭和七年の一月であります。特高部で種々それを調べて見ました所資金網なるものが出来て居つたのであります。或は學校會社或は工場で五拾錢壹圓、貳圓或は五圓拾圓と云ふやうな金を出す資金網なるものが各方面に張られてゐたのであります。是れが分つて参りましたから、私は、それを破壊するまで、どし／＼檢舉しやうと決心し、之が檢舉を命じたのであります。それが一番成功致しまして十月六日に大森に於ける川崎第百銀行のギャング事件にまで、追ひ込んだと云ふ程に此の資金網の破壊を徹底的に決行したのであります。此の昭和七年には資金網破壊によつて共産黨なるものを壊滅させてやらう。つまり櫻氏の兵法で申さば敵の糧道を斷つて敵を壊滅にしてやらうと考へまして、どし／＼資金網を破壊する事に努力仕様としたのであります。

處が突然二月九日の晩に井上準之助氏が駒込小學校の駒井重次君の選挙の應援演説に行く處をピストルでやられたのであります。二月の二十日が投票の日でありまして二月の九日頃は選挙運動の油の乗つて参りました時で、此の時に先の大蔵大臣が選挙の應援演説に参りますため演説會場の入口で、自動車から降りる時一發のピストルでやられたのであります。此の電話を受けまして此の晩は雲が降つて寒い晩でありましたが直ちに備へ付けの自動車に乗りまして駒込の所轄警察に参つたのであります。私の参りましたのは選挙運動のために井上さんがやられたと云ふことになるのは由々しき重大問題。選挙運動なるものが利害や金銭問題でなく暴力にまで出るやうになつたとしたならば、大問題であると考えたものでありますから、雲の降る二月九日の晩自動車に乗つて駒込の警察署に参りましたのであります。種々調べて見ました所が是れは選挙運動には関係がないと云ふことが解つたので安心したのであります。其點は解りましたが犯人は小沼正でありましたが、どうも云ふ所が所々辻褄が合はぬのであります。何故井上さんをやつたかと云ふと、最近茨城の郷里に歸つて見た所如何にも農民が苦しんで居る。此の苦しんでゐるのは大蔵大臣のためである。そう考へたからやつたのであると云ふ。然しながら井上さんは犬養内閣の成立すると共に大蔵大臣をやめて居るのであります。やめてゐる大蔵大臣をやると云ふのは、どうしても理窟に合はぬ。私は其時の主任検事に此の事件には必ず背景があるから背景をよく調べよと云ひ残して歸つて参つたのであります。此の選挙の時に吉田由一と云ふ名も無い大抵の人は名も知らぬ者が立候補したのであります。色々調べて見

ますと共産黨方面からの立候補なので候補者なりとて猶豫ならずと是れを押へてしまつたのであります。

そのやうな騒動がありまして、昭和七年二月の總選挙は東京の検事局では終りを告げたのであります。所が三月五日晝少し前になりました。團琢磨氏が三井銀行の入口でピストルでやられた。同じく自動車から降りる所をやられた。犯人は逮捕した。こう云ふ警察電話を受けたのであります。その犯人の名前は何と云ふかと尋ねた所が菱沼五郎であります。菱沼五郎に付いては小沼正の事件の時に、後私ば調べさせて私の頭に上つてゐる者であります。やりやがつたなと私は叫びました、是れが今度の十一月の廿二日の日に判決のあると云ふ血盟團事件となるのであります。

もうこうなつては猶豫ならぬと云ふので警視廳の總動員を致したのであります。取調べの結果、菱沼名前は分つて居りましても所在は一向に分つて居らないが猶豫ならん場合でありますので總動員となつたのであります。其結果到頭首尾克く全部押へる事が出来たのであります。中々手を入れますと云ふと物議を起すやうな所に隠れてゐるものもありまして、中々全部手に入れるには検事局も警視廳も苦心したのであります。

井上昭、別名井上日召此の者は血盟團事件の首領でありまして天行會に居りました。天行會は遠山滿翁の隣にある道場であります。眞偽の程は判りませぬが、天行會に居りましてピストルを以て井上を護衛してゐる者がある内偵をしたものからかう云ふ情報があつたのであります。警視廳の武力、一萬七千ある。

一萬七千あれば何でもない事であるが、怪我人をこしらへて捕へると云ふことは、つかまへる方が巧みでないの
でありますから怪我人をつくらないやうにして、手に入れやうと云ふ所に苦心があつたのであります。私の方針と
しては遠巻にせい。雖も漏らさぬやうにして遠巻きにして捕れ一年でも二年でも宜しい。遠巻にして出て来るのを
待つて、そして内輪の計畫でなくして人にも談り勿論新聞記者にも話したので、此の持久戦の計畫が井上の耳にも
這入つたのであります。一年でも二年でも遠巻きにして出て来るのを待つて決心されては余程氣が長いものでなけ
れば、落付いて居られる譯がない。井上昭はしつかりした男らしい人物であります。遂に私の所に出て参つたの
であります。

それが三月の十一日であります。三月十日に出て来ることになつて居りましたが、其日には出て参りませんで、
其翌日三月十一日に出て参つたのであります。法國一如と私が申しましたのは此の時であります。私は井上に「君
は日蓮の信者であつたな」と申しますと「井上は左様です」と申したので私は思はず法國一如と喝破したの
であります。井上昭は形を改め心を落付けなごやかになつたのであります。つまり法國一如と云ふことは日蓮が云
ふたのであります。或は人法一如とも云ふ佛法も國家も同じだ佛法の外に國家はない。國家の外に佛法はない。國
家がいゝと思ふことは佛法でもいゝと思はねばならぬ。佛法で悪いと思ふことは國家でも悪いと思はねばならぬ。
其日蓮の云つた所の法國一如なる言葉が偶然に私の頭に浮かんで來たので、それを井上昭にたゞきつけてやつた井

上も流石日蓮信者だけあつて、法律の裁きを受ける事を決心したのであります。それが此の三月十一日午前十時檢
事正室の問題なのであります。兎に角斯くの如くにして血盟團事件なるものが全部檢舉が出來たのであります。す
ると五月十五日に犬養總理銃殺の問題が起つた。是れが後に至る五、一五事件と云はるゝに至つた事件であります
取調べて見ますと茨城縣水戸在の愛郷塾の人々と軍人とで此の事件を起したのである。

此の五、一五事件に就いてはもう既に血盟團事件の取調べに依りまして、愛郷塾關係者なるものは、全部私共の
方に明かになつて居りますから、忽ち五、一五事件の如何なるものであるか、その全貌を知つて了つて居りました
ので軍人の方面は憲兵隊の方で取扱ひましたが民間側方面は私の方で忽ちしぼつてしまつたのであります。只骨の
折れましたのは大川周明氏をしぼるのであります。是れは六月十五日苦心の結果到頭手に入れてしまつたのであ
ります。それ以來東京の檢事正たる私には三名の護衛巡査が朝夕つく事になつてしまつた。何處へ行くにも護衛巡
査がついて來る事になつてしまつた。つまりこう次ぎ／＼としぼられては右翼の仕事はうまく行かぬからしぼる親
玉をやつゝけてやれと云ふ様は流言飛語があつたので、私の所に護衛巡査がつくと云ふことになつてしまつたので
はないかと思ふ。右翼の方面は今迄は左翼を相手にして居つたのであります。濱口首相が一刺にやられた以來右翼
の方面のねらい所は政黨財閥特權階級に向けられたのであります。そして左翼を相手にしなくなつたのであります。
而して一面左翼の方面では、どうなつてゐるか申しますと昭和七年の一月資金網破壊の命令を、私が出します

るとぞく／＼資金綱が破壊されまして共産黨に出します所の、會費、その方面が殆ど全く破壊されましたのでかゝる穩和な手段に依りまして資金を得ることが出来なくなつて來た。共産黨の幹部は自力を以て金を作り出す事をやりません。人から出された金を使つて居れば善いと云ふ様な形なので共産主義プロカなのであります。プロカでありますから他の者が金を出してくれなければ自分の生活が出来ないと云ふ状態であります。それなのに資金綱を破壊されたから、今度出て参りましたのは當時の東京の新聞を見れば判りますが、當時金持娘かお嬢さんが産家の息子か坊ちゃんか、父の貯金の通帳株券現金を持つて盛んに逃げ出したのであります。或は銀行の行員が銀行の金を持つて行く。行方不明になつたとか、六月、七月、八月頃には誠に變な事件が起つて参つたのであります。それは後になつて調べて見ますと云ふと凡て共産黨の指令に基づきまして、世の中の事を知らない金持のお嬢さんや銀行の行員や、華族財閥の子弟などが左様な事を致して、その持出した金を共産黨に提供して居つたのであります。そう云ふ事件が相當にあります。私のざつと計算した所だけでも、昭和七年の八月頃までに、斯様にして持出されましたる金額は拾貳參萬圓に達して居ります、警視廳では參拾萬圓と申して居ります。

斯様な方面もどし／＼檢舉したのであります。そこで共産黨の方面では弱つてしまつたのであります結果が十月六日の大森に於ける川崎第百銀行のギャング事件となつて参りまして、參萬幾何の金を白晝強奪する事になつたのであります。此の事件が分らなかつたならば私の責任も考へなければならなかつたのであります。運好く十月九

日の日に今泉善一なるギャング事件の親玉を手に入れたのであります。是れは全く天祐と私は考へてゐる。別にギャング事件を擧げる考へでやつたのではないのですが神樂坂の警察署で此處の警察の署長と司法主任は勇敢な人で、他の管内の事件であつても他の管内に話をして他の管内の方で手をつけなければ自ら手を下してしまふと云ふ位ひ勇敢な人で此のギャング事件を擧げたのも彼なのであります。

當時東京市外の警察署の管内に詐欺賭博事件があつた神樂坂署長の耳に這入つた。他管の事件であるが神樂坂の司法主任と署長とは、よしやらうと云ふので伊藤なる者を神樂坂警察署に呼んでそうして伊藤の宅をガサをやる。云ふと床下に六挺のピストルがある。當時は血盟團事件五、一五事件と云ふ様な血盟事件がありましたので、此の事件を起してゐるものがピストルの所持者であると云ふのでピストルの取締りと云ふものは非常に嚴重であつた。その際に様の下に六挺のピストルがあつたのでありますから、神樂坂の司法主任は伊藤に是れは何だと追求した所が、是れは齋藤なる者に賣る事になつて居ります。飛鳥山の籠で此のピストルを渡す事になつて居ります。明日お金を貰ふことになつて居ります。そこで神樂坂の警察は手配を致しまして、伊藤を連れて参りそうして伊藤が買受人に渡すためにピストルを出す、買受人が手を出す、その時に隠れ場所から飛び出して逮捕したのが彼の今泉善一なのであります。今泉善一は齋藤と申して居りましたが多數の札を所持し尙ほ今泉善一のアジトをガサをやりました所が又多數の札が出て來た。此の札の番號を調べて見ますと云ふと川崎第百銀行で取られた札の番號があつた。有無

を言はさず神樂坂の警察に連れて来て、是を警視廳の特高に廻して是を特高で調べて見た所が共産黨の幹部の今泉善一で、ギヤング事件の首謀者と云ふ事が判つたのであります。

そう云ふ次第でありますから天祐で手に這入つたのであり若し是が手に這入らなかつたならば宮城は資金網の破壊を命じ、而して其の對策を構じて居らなかつたと云ふので責任を余程考へて見なければならなかつたのであります。天祐にも今泉善一が手に這入りましたので先づギヤング事件の問題と云ふものは難無く解決したのであります。そればかりでなくギヤング事件關係者の取調べによりまして、共産黨の大檢舉をなすことを得たので其收穫は大したものであります。乃ち近き内に共産黨幹部の會合があると云ふ事が分りました。

これから十月三十日の大檢舉と云ふことになつたのであります。内偵を進めますと熱海に會合すると云ふ事が分りましたので、熱海で檢舉する事になつたのであります。爾來十月三十日の檢舉を續けて参りますと云ふと學習院關係の婦人、男子學習院關係の華族資産者階級此の方面にも關係者があると云ふことが分りまして、其方面も檢舉したのであります。日本労働組合全國協議會なるものが共産黨の母體である事が分りましたので、是も檢舉。日本赤色救援會と云ふものは共産黨の培養器であると云ふことが分りましたので、是も檢舉。遂には日本労働階級士と云ふもの、是も檢舉致しまして共産黨を殆ど檢舉し盡してしまつたのであります。斯くて昭和八年六月七日に至りますと佐野、鍋山の轉向の聲明と相成つたのであります。佐野、鍋山が共産黨なるものを見棄て、日本民族

の意識に醒めロシヤと手を切るに至りましたる各種の理由を擧げて聲明書を出しましたので、他の共産黨の人々で獄中にある者、未だ審理中の者、檢舉せられざる者、殆ど凡てが佐野、鍋山同様共産黨と手を切る様に相成つて、今日に至つてゐるのであります。實は佐野、鍋山の轉向が今日の轉向時代を現出するに至つた源をなしてゐるのでありますから佐野、鍋山が如何にして轉向するに至つたかと云ふ様な事を考へて見る必要があるのであります。始め佐野、鍋山が轉向致しまして六月の七日の聲明を八日の新聞に出しました。眞に轉向したのであるかと云ふ疑問を以てゐた人も相當あつた。軍人の方面に相當多いやうに思はれた、態々私の所に質問に來た特志の人もあつたそれで私は轉向するに至つた事情を話して諒解を求めたが、兎に角佐野、鍋山なるものは轉向するとは世の中の人々は考へて居らなかつた。佐野、鍋山が共産黨を脱すると云ふ事も考へて居らなかつた。

然るに突如として轉向の聲明をしたものでありますから世人は驚いた。然し私の方から云へば決而突如ではなかつたのであります、ギヤング事件が縁をなして、それから佐野、鍋山が頭を非常に悩ましたのであります。何故ギヤング事件が縁をなしたかと申しますと、共産黨の本來は貧乏人の味方となつて財閥特權階級、此者に對して階級闘争をしなくてはならぬ。こう考へて居つて佐野、鍋山は活動して居つたのであります。ところが共産黨がギヤング事件を起すに至つたと云ふのでギヤング事件の如きものは大衆の氣持よく思ふ所ではない。共産黨は本來大衆の支持を受けねばならないのに大衆の嫌な仕事をするやうになつた。是れは共産黨の本質に間違ひがあるので

ないか、或はロシアのコミンテルンの指令に間違ひがあるのではないかと云ふ様な事に付いて深き考へに這入つて行つたのであります。その悩みが昭和七年十月下旬から始まりそして八年の一月の十二日に至りますと監獄の係りのものに對して心境に變化が生じて來たと云ふ事を申し翌日妻君を監獄に呼んで妻君に對しても心境に變化を生じて來たと云ふ事を言つてゐる。決而六月の七日突然聲明をしたと云ふ譯のものではない。次第に日本民族の特殊性と云ふものを考へて行つてそして日本の國に於て共産黨と云ふやうなものとはとても國民性には適つて居らぬのであると云ふ事を自覺しての聲明書であります。けれども轉向を疑ふものは刑を軽くして貰はふがために詐り轉向したのだと云ふ様なことを云ふ者もあり。心から轉向した次第ではないのであらうと云ふ様な者もあつたのである。最近の東京の通信に依りますと佐野も銅山も上告を取り下げ二審の判決に服し、現に赤い着物を着て服役してゐると云ふことでもあります。私が眞に轉向したとして新聞紙に佐野、銅山の聲明書を發表したのは佐野、銅山に私が致させたのではないと云ふことを裏表してゐるものと考へて居る次第であります。その佐野、銅山の轉向に依りまして續々他の共産主義者も轉向して今日では全く轉向時代を現出してしまつたのであります。

轉向するには色々の事情があります。けれ共が其の根本となるものは外國とは全然違ふところの吾國の特殊事情であります。皇統連綿として續いてゐる國が世界の何處にあるか一度も外國の奴隸となつたことがなくして、今日に至つた國民が日本の外に世界に何處にあるかはそれを日本の特殊民族性として考へて來たのであります。斯様な考

へが浮かみました時に伊太利のファッションとか獨逸のナチスであるとか、是等右翼思想がロシアの左翼思想に對抗して世界に擡頭して參りましたので、是れに依つて日本精神、大和魂なるものを深く考へて見ねばならぬ様になつたのであります。然して無批判に外國の主義主張を取り容れると云ふことは間違ひであると云ふことを考へて來たのであります。次には是は警察、監獄に入れられたものに就いてであります。ロシアの帝制時代に於ける警察、監獄、裁判所は實に苛酷なるものであつたが自分達は警察の手を經、留置場を經、刑事の手を經、監獄を經、裁判所の手に依つて色々處遇せられてゐるがロシアの書物で讀んだ日本の官憲は苛酷であつたのに實際自分達を取扱つてくれた日本の官憲は親切なので、まるで書物と實際とは違ふ事を知り。無批判にロシアの帝制が、ツァーリズムが終りを告げたから日本も此の通りにならねばならぬと、考へたのは間違ひであつたと云ふ様に、考へて來たのであります。もう一つは警察の留置場に居り監獄に入れられて、そして書物の不自由を感じたのであります。今迄は讀み度いと思つたならばどんな本でも金で買つて讀んだのであります。書物が不足して參りましたから書物を味はひ批判する様になり、同様に自己反省をする様に相成つたのであります。是れが大事な所なのであります。書物を讀まなければ利口にならぬ學者にならぬと云ふのは間違ひである。書物ばかりでなく世の中の出來事は總て書物である。文字で書いてあるものゝみが書物ではない。それでなければ新奇の發明は出來る筈はない、それでなければ昔の人の書いたものより、良い本の出來る筈はない。昔の人よりも立派なものを作り出すと云ふのは昔の本か

ら出て来てゐるのではない。昔の人の本も材料には相異なるが是れが材料であつた全部ではない。目に觸れ耳に觸れ鼻に這入る様な事柄が凡て是れ學問、凡て是れ書物、そう考へねばいけない、此の共產主義者と云ふものは、何んでも書物のみに重きを置く。是を警察の留置場監獄にはいりまして、書物に不自由して、自己批判と云ふものをやることになつたのであります。其の結果父母の愛なるものを知るに至つたのであります、孤獨の生活を警察の留置場、監獄で味はふて雨が降る風が吹く月が照る左様なものに目、耳、身體、是れを觸るゝに至りました。

自己なるものを覺りそうして自己の現在ある事を考へそうして自己の現在あるのは、何のためであるかと云ふ事を考へ、つまり父母のためであると云ふことを知つて、子供の時に父母に愛せられたことを回顧し、父母の恩義を感ずるに至つた。

父母の恩義を考へまするに至りましたからには祖先の恩義も考へずにはゐられない。祖父の恩義を考へまするに至つたならば、大家族日本の首長であります陛下の事を考へなければならなくなつて参りました。そこで共產主義の主意となして居ります唯物的な考へ方が全部我が日本に於ては間違ひであると云ふ様な結論に到達するに至つたのであります。是れが大多數の共產黨員の轉向の動機と申しましたもよいのであります。

又此の忠孝會で申しますると云ふと君に對しては陛下に對しては忠、父母に對しては孝なるものを淋しき獄中生活に於て、やうやく知るに至つたのであります、轉向の動機は左様であります、して見ると思想對思想主義ではいか

ないので結局刑罰主義で彼等を轉向せしむるに至つたのであります。是れを今度は心の方面から考へて見まするとやはり三つに分けることが出来ると思ふのであります。宗教的轉向、道德的轉向、理論的轉向でありまして、もつとつづめて、智的轉向と情的轉向と考へても宜しいかも知れません。共產黨は唯物論に依つて居りますから唯心論などと云ふものは眼中になかつた。従ひまして宗教を罵倒して阿片なりと云ふて居ります。勿論罵倒された宗教は佛教や神道ではなく西洋の事でありましてから耶穌教の事ではありますが是れを阿片なりと云つて罵倒してゐる。然し沈思熟考して見ると決而宗教は阿片ではないと云ふ事を悟つて、共產黨主義なるものを棄つたもの、是れは宗教的轉向と云ふてよいと思ふのであります。それから父母の愛など云ふものから共產主義を棄つるに至りましたものは道德轉向と云つてもよいと思ふのであります。理論的轉向とは共產主義の理論より別な理論の方が宜しいと云ふものでその別な理論に移つたもので佐野、鍋山の如きは現在に於ては、理論轉向の方ではないかと考へられます。此の理論轉向は現在轉向するに至りましたる理論より尙よき理論を知りましたならば又々其方に轉向するのではないかと考へられます。

従ひまして理論轉向は轉向には相違ないが、まだ落付きのない轉向と言つてもいゝと考へられる、知的轉向は、未だ落付がないと考へます。情的轉向、宗教的にしても、道德的にしても情的の方面から参りました轉向は皆動かない轉向だと考へられます。もう餘り長くなりますから段々打ち止めにしませうが、總て此の經過になりますと

始めの間は左翼方面のみ活動して居つたのでありまして、其次第二期と稱してよい第二期の時代になりますと云ふと、左翼右翼の對立時代。現在に於きましては、左翼右翼の併立時代。何故併立かと申しますと、右翼も財閥が悪い。特權階級が悪いと云ふので財閥なるものの特權階級なるものを倒そうとしてゐるのであります。左翼のものも資本主義機構が悪いと云ふて居るが之れを解剖して見ますと結局財閥と特權階級が悪いと云ふ事になる、従ひまして右翼も左翼も財閥と特權階級なるものを相手の目標にして運動をして居つたのでありますから先づ併立時代と云つていふと思ふのであります。

現代の併立時代が進んで参りますと右翼と左翼の合流時代が来るのではないかと思はれます。左翼思想が轉向しました曠には右翼的思想になるのがあります、帝國主義天皇中心主義の思想に轉向するのであります。

帝國主義天皇中心主義は私共の主義であります。それに左翼が轉向するのであります、右翼の主義に轉向するのであります、従つて左翼と右翼とが互に諒解して手を握れば左右兩翼が合流して仕舞ひます。最早その合流時代が今日来て居りはせぬかと考へます、我が日本に於きましてはどうしても右翼でなくてはならぬと私は考へて居りますが、右翼の者はともすれば氣が短い、ともすれば非合法の手段に訴へてまでも、其の目的を達せんとする癖があるのであります。

右翼では天皇中心主義を稱へて居りながら天皇の法律に違叛するやうなことをするのは可笑しいではないか。

天皇中心主義でありましたならば陛下の法律、天皇の法律には飽く迄も従はねばならぬ。

かるが故に先程御讀みになつた勅語にも國法に違がひとあるではないか、右翼の者は、ともすると國法に違がはぬ癖があるにもかゝはらず天皇中心主義と云ふてゐるのは、そこに矛盾があるではないか、是れから右翼の全盛時代にならうと考へますが此の點を充分お互に憶ひまして國憲を重んじ國法に違がはねばならぬ。而して日本精神なるものを、海外に輝かせるやうにせねばならぬと思ふのであります。

是れを以て私のお話を終りと致します。

拍手

閉會の辭

本日は我々のために興味ある且つ貴重なるお話をして戴いた事を皆様と共に厚く御禮を申し上げます。終りに臨み長崎醫科大學教授國友博士に萬歲三唱の音頭を取つて戴き度いと思ひます。

萬歲三唱

昭和十年一月三十日印刷
昭和十年二月十一日發行

長崎市十人町七番地

發行所 **大日本忠孝會**

長崎市朝霞町八十二番地

發行所 **天本美徳**

長崎市本郷多町一番地

印刷者 **大久保龍男**

長崎市本郷多町一番地

印刷所 **株式重誠會社**

大日本忠孝會規約

第一條 本會ハ忠孝ノ大義ヲ明ニシ其ノ普及徹底ヲ期スルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ大日本忠孝會ト稱シ當分ノ内其ノ事務所ヲ

長崎市十人町 長崎育兒院内ニ置ク

第三條 本會ハ本會ノ主旨ニ賛成シ入會ヲ申込ミタル者ヲ以テ會員トス
但シ會費ヲ徴セズ

第四條 本會ハ第一條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フモノトス

- 一、書畫、印刷物等ノ配付
- 一、講演會
- 一、其他必要ナル事項

第五條 本會ニ理事及ビ評議員ヲ置キ理事ハ總會ニテ之ヲ選舉シ評議員ハ
理事會ノ決議ニ依リ之ヲ囑託ス

4
8